

諭吉先生の教えに学ぶ ～福澤諭吉記念 第56回全国高等学校弁論大会～

本大会は、中津にゆかりの深い偉人、福澤諭吉の遺徳を顕彰し、全国の高校生の弁論力の向上と大会を通じた交流を目的に毎年開催しています。高校生による弁論大会としては、全国トップレベルの大会として位置づけられており、北は北海道から南は沖縄県まで、原稿審査を通過した高校生の出場による大会です。

福澤諭吉は、『学問のすすめ』の中で、「演説とは英語にて“スピーチ”といい、大勢の人を会して説を述べ、席上にて我思ふ所を人に伝ふる法なり」と述べており、多くの人の前で自分の主義、主張や意見を述べることの重要性を説いています。その教えを脈々と受け継ぐ本大会は、**弁論に励む全国の高校生の憧れの舞台**となっています。

1. 大会開催の経緯について

昭和36年、元慶應義塾大学教授の池田弥三郎先生が宮崎県に出張した帰りに中津に立ち寄り、福澤旧居を見学しました。その折、当時の中津市長、中津三田会会長などが集まり、池田先生を囲む懇談会が催されました。

そこで、福澤諭吉先生の遺徳を顕彰するために記念になるような中津市挙げての行事を開催したらどうかという話になりました。ちょうど、慶應義塾命名100周年を控えており、その100周年記念に先立って中津市で福澤先生にちなんだ記念行事を行ってはどうかということになり、中津市と慶應義塾の共催で慶應義塾の先生を講師に迎えた文化講演会と全国高等学校弁論大会を行うこととなりました。昭和37年4月23日に福沢会館で第1回目が開催され、栄えある第1回の最優秀校は、福岡県の三池高等学校でした。

2. 第56回大会の概要

- 日時 平成29年11月24日（金） 9:00～15:35
- 場所 中津文化会館
- 主催 中津市
- 共催 慶應義塾
- 後援 大分県・大分県教育委員会
NHK大分放送局・OBS大分放送
TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送
公益財団法人福澤旧邸保存会
- 審査 7名（別紙プログラム）
- 出場者 29名（別紙プログラム）
 - (1) 原稿審査による出場（18名） 応募33名
 - (2) 大分県、沖縄県大会上位校 各2名
 - (3) 外国人留学生 1名（佐伯豊南高校2年男子、タイ出身）
 - (4) 市内高等学校代表 5名
 - (5) 基準弁論者 1名（市内高校より選抜）



■協力 中津南高等学校、中津南高等学校耶馬溪校、中津北高等学校、中津東高等学校、東九州龍谷高等学校

- (1) 弁論担当教諭による原稿審査
- (2) 高校生による大会運営の係活動
- (3) 聴衆として参加
- (4) アトラクション出演（中津北高吹奏楽、龍谷高 NAMU-NAMU GIRLS）

■日程

【23日（木）】

- 15:30～ 福澤旧居、寺町見学
（希望者 弁士15名 引率者15名）
- 18:00～ 弁論順抽選会
- 18:30～ 審査員打合せ会
- 19:00～ 弁士交歓会、引率者懇親会、審査員と市長の懇親会

【24日（金）】

- 8:30～ 舞台上で、記念撮影（弁士、引率者、審査員、関係者）
- 9:00～ 開会行事 市長あいさつ、慶応義塾あいさつ、優勝旗返還
- 9:25～ 基準弁論（基準点の算出）
- 9:40～ 1番弁士弁論
- 11:25 13番弁士弁論終了
休憩（聴衆入れ替え）
- 12:00～ 14番弁士弁論（留学生弁士）
- 14:05 28番弁士終了
- 14:10～ 審査、アトラクション
- 15:05～ 表彰式
- 15:35～ 閉会



- 弁論 (1) 演題は自由。
- (2) 弁論時間は6分以上7分以内。不足、超過は減点の対象となる。
- (3) マイクを使用する。
- (4) 壇上への時計の持ち込みはできない。

- 表彰 (1) 最優秀賞（1名）
慶応義塾塾長賞（大会優勝旗）及び中津市長賞（市長杯及び副賞）
副賞「福澤先生の足跡を訪ねて」旅行券
- (2) 優秀賞（10名）
大分県知事賞・大分県教育長賞・中津市議会議長賞
NHK大分放送局長賞・OBS大分放送社長賞
TOSテレビ大分社長賞・OAB大分朝日放送社長賞
NPO法人中津文化協会理事長賞・中津三田会会長賞
国際ソロプチミスト中津会長
- (3) 入選（上記各賞以外の出場者）

■問合せ先 中津市教育委員会社会教育課生涯学習推進室
担当：山本・大畑（TEL：0979-22-1111・内線482・483）